

図書館だより

本で世界を広げよう！



令和6年5月
大洲農業高校図書館

〈大農図書館の使い方〉

- * 昼休みと放課後（16時45分まで）利用できます。
- * 図書館の本（品ぞろえ豊富です）を自由に読みましょう。
- * 気になる本は、ぜひ借りてじっくり読んでください。
自分の貸し出しカードに必要事項を記入し、カードと本をカウンターにいる図書委員に出して手続きをしてください。本は1週間借りることができます。
- * 「朝読書で読む本がない。」という人、ぜひ図書館に来てください。課題研究や実習の調べ物にも、図書館の本が力を発揮します。
- * 借りた本は、返却日（貸出日から1週間後）までに図書館に持参し、返却手続きを行ってください。

〈図書委員会の紹介〉

(1-1) 寺内 蒼真	(1-2) 高地 香穂	中川 夢叶
(2-1) 増本 智也 宮里 匠	(2-2) 北口 いぶき	成松 奏
(3-1) 太田 優人 寺内 心芦	(3-2) 郷田 臣斗	横久保 美羽
(教員) 大田 友里	星野沙央里	

〈今年度の目標〉 「図書館に行こう！本を借りよう！！」

昨年度、一人あたりの平均貸出冊数は、6冊でした。皆さんからさらに愛される図書館を目指して、今年度も頑張ります。ぜひ図書館に来てくださいね。

〈本の紹介〉

図書館司書の大田先生より、絶対におもしろい本の紹介です。

★「舟を編む」 三浦しをん著

辞書編纂という地味ながらも大変な作業をテーマにした作品です。劇的な山場があるわけでもない、どんでん返しがあるわけでもないのに飽きずに読めます。構想から15年かけて一冊の辞書が完成するまでのストーリーを、登場人物の物語とともに楽しみください。

★「絡新婦（じょろうぐも）の糸」一警視庁サイバー犯罪対策課 中山七里著

凶器は140字。共犯者は十数万人。ネットの炎上が現実に飛び火し、ついに現実に死者が出ます。サイバーは犯罪対策課の延藤が必死に犯人を追い詰めていきます。一気に読めてしまう展開に、衝撃の犯人がわかるまでページをめくる手が止まりませんでした。他にもいろいろなミステリー小説があるので手に取ってみてください。

★「成瀬は天下を取りに行く」 宮島未奈著

2024年本屋大賞受賞作。成瀬あかりは中学二年生。夏に閉店する西部大津店の中継に毎日映り込みに行ったり、親友とM-1グランプリに挑戦したり、とにかくテンポが良く、読みやすい青春ストーリー。チョット（だいぶ）変わり者でブレないあかりが最高に面白い一冊です。高校生になったあかりの斬新なヘアスタイルに笑えます。

